

# 接続詞の種類

## ① 順接



前の内容が原因・理由となり  
後に結果や結論がくる。

だから、すると  
それで、そこで、したがって

など

## ② 逆接



前の内容と対立するような  
ことが後にくる。

しかし、ところが、でも  
けれど、だが、けれども

など

## ③ 並列・添加



前の内容とを対等のことを  
後ろに並べる。

また、そして、それから  
そのうえ、しかも、さらに

など

## ④ 対比・選択



前のことがらと後のことがらの  
どちらかを比べたり選んだりする。

それとも、あるいは  
または、もしくは、

など

## ⑤ 説明・理由・例示・補足

前の内容の説明や理由、例や補足を  
あらわす。

なぜなら、つまり、  
たとえば、ただし

など

## ⑥ 転換



話題を変えてあとの事柄に  
続ける。

さて、ところで  
では、それでは

など

次の□に入る接続詞を選んでみましょう

予定よりも早く家をでた。**けれども**間に合わなかった。

雨が激しくふってきた。**そのうえ**風もふいてきた。

数学の勉強をしようか。**もしくは**英語にしようか迷う。

とてもつかれている。**つまり**疲労困憊ということだ。

納豆は体に良い。**ただし**食べ過ぎると健康によくない。

いっしょうけんめい勉強をした。**すると**成績があがった。

家についていた。**さて**夕ご飯の準備にとりかかろう。

さて そのうえ けれども ただし

もしくは つまり すると